

I can't put up with nuclear fuel circle.

# だまっちゃおられん!

## 改めて決意表明のために 「アインシュタインの原理」 代表 阿部 東

アインシュタインの原理といいますと、相対性原理（今は理論）を思い浮かべます。実は原理とは「自然科学は人類のためにあるもの、人類を破滅させる科学研究はしてはならない」という主旨といわれます。原子核科学の成果が核兵器に使われたことに対し反省ともいわれ、自然科学の倫理とよばれています。発電と共に人間の力ではどうすることも出来ない核燃のゴミを発生させる原子力発電は核兵器同様人類の敵です。一時的経済効果のため地球を、生命を破壊する放射能をつくる原発は断固阻止しなければなりません。宇宙船地球号のためにも。

## 「今こそ原点を抱きしめて」 ～私の言葉で語れるように～ 新日本婦人会弘前支部 櫻庭 章子

最近ショックなことがありました。初心者ながらも一市民の責任として、社会的な運動に関わろうとしている私は、「ちゃかし」（津軽弁で、浅薄？）で、「自分のことしか考えてない」と身近な人から言われたのです。最初は全く理解不能でしたが、どうやら、「お上」に異を唱えることは、「はねかえり」「軽はずみ」「身の程知らず」のふるまいであり、苦しいことがあっても「忍耐強く我慢し」「和を尊ぶ」精神を美德とする価値観から見れば、「自分勝手」ということになるらしいのです。戦後の「民主化」された世で育ち、その果実を享受しながらも、内面では民主主義も主権者意識もほとんど身につかないまま、私たちの多くはここまで来てしまった。隠れ復古主義者の岩盤は深く広く潜在していました。原発自体の問題を訴えるだけでなく、自分たちのことは自分たちが決める権利と責任があるという、近代社会では当たり前前の市民感覚が、実は欠如していると訴えることと二本立てを意識的に作っていく必要があるのでは、と思います。

私にとっての原点は、福島事故のあとの東電記者会見です。超一流のはずの大企業のエリート社員たちの周章狼狽、鉄面皮。記者たちの追求に詰まり、じっと黙り込む…。絶望的な驚愕の光景でした。再処理工場のあるこの青森県で同じことが起こったら・怖くて心臓がどきどきしてくるのをこらえながら連日テレビの前に座っていました。福島の人たちは私たちの身代わりになって、原発の恐ろしさを身をもって示す犠牲を払わされたことを、決して忘れず、借り物でない自分の言葉で思いを共有してもらえるようになりたいと思っています。

## 「現状把握からの第一歩」 弘前大学職員組合 下山智裕

今回、弘前大学職員組合を代表して運営委員になりました下山と申します。自分の生活を振り返ってみまして、日々使用する電気のありがたみを当然のように受け止め、電力を発生する側のことを考えることが比較的になかったため、活動を通じ、自然エネルギー、原子力発電といった発電、また、それに伴う自然及び社会への影響と効果を考えられたらと思います。よろしくお願ひします。

## 「脱原発運動に参加して」 弘前年金者組合 猪俣 峻

私が「だまっちゃおられん津軽の会」に参加したのは四年前、りんご広場に集合して、ノボリ旗を立てチラシの配布担当です。また宣伝担当者は、「脱原発や現状について」等をスピーカーで市民に訴えています。「一人の力は弱い、多数になれば政府も耳を傾けてくれる。」この言葉を信じて行動しています。今から四十数年前、むつ市大湊港に日本で最初の原子力船「むつ」の母港を造り、試験運航を開始したら、γ線漏れが発生、この防護方法として採られたのが、米にホウ素を入れたものを炊き、漏れた隙間に塗り込んだ。そんな方法しか考えられない人間が、原子力を扱うことができないと思うのは私だけでしょうか。今また、高速増殖炉でつまづき、「むつ」での失敗は生かされず、核燃サイクルは崩壊したと言わざるを得ません。ウラン 235 を核反応させるとプルトニウムが生成される…そして核反応を続けて最後に出るのは「鉛」である。今現在でも、放射線から身体を護るために「鉛入りガラスやプロテクター」が使用されているのです。安全性は問題がないと、電力会社は言っていますが、一度事故が発生すれば大災害となり、自社では手に負えず、政府の手を借り、住民や国民に負担を押し付けているのが現状です。

放射性廃棄物の貯蔵にしても、三百年～四百年、永いものは十万年も管理しなければなりません。これらをみんな国民に背負わせて、後は「野」となれ「山」となれ、典型的なものであり、絶対原子力に頼ってはなりません。後世に禍根を残すこととなります。只反対ばかりでならないので、一つ提案します。水を分解して、水素と酸素にして、これを燃料として水素エンジンを製作して発電すれば、また水となる。少資源国日本の技術力ですれば必ず出来ると信じています。これからも微力ではありますが、脱原発に力を傾注します。

核燃・だまっちゃおられん津軽の会

会報 NO. 24  
2016年 11月 7日 発行  
連絡先 : 0172 - 39 - 3551  
弘前大学理工学部宮永崇史



## 2016年度 役員体制

核燃・だまっちゃおられん津軽の会では2016年6月7日に第9回総会を行いました。本年度の運営委員が下記のように承認されました。

- 代表：阿部 東
- 代表：安藤 晴美
- 副代表：仁平 将
- 運営委員：佐藤 倅三（中弘南黒地区労連）
- 運営委員：未 定（日本科学者会議弘前分会）
- 運営委員：未 定（津軽保健生活協同組合）
- 運営委員：下山 智裕（弘前大学職員組合）
- 運営委員：未 定（(株)ファルマ）
- 運営委員：黒沼 利三（市民が主人公のみんなの会）
- 運営委員：工藤 聡（共産党津軽地区委員会）
- 運営委員：櫻庭 章子（新婦人弘前支部）
- 運営委員：須藤 宏（津軽農民組合）
- 運営委員：二川原 一（年金者組合津軽南支部）
- 運営委員：猪俣 峻（年金者組合弘前支部）
- 運営委員：小山 秀人（コープあおもり弘前地域）
- 運営委員：山本 陽子（健生病院労働組合）
- 運営委員：宮永 崇史（事務局長）
- 運営委員：大坪 正一（事務局次長）
- 運営委員：高松 利昌（事務局員）
- 運営委員：相馬小百合（事務局員）
- 運営委員：福田 進治（事務局員）
- 会計監査：工藤 敏子

◎ 市民講座を開催します!  
緊急シンポジウム  
どうなる? 高速増殖炉もんじゅ廃炉後の青森県!

11月29日(火) 6時～ 津軽保健生協2Fホール  
無料です。ふるってご参加ください。

◎ 金曜日行動に連帯して

核燃・だまっちゃおられん津軽の会  
街頭宣伝行動

11月25日(金) 午後5時40分～  
イトーヨーカ堂脇りんご広場に集まろう



事務局員募集中! 会費納入のお願い

◎現在、事務局員を募集中! 会員の方でやってみたいと思われる方、ぜひ事務局までご連絡ください!

◎会費納入をお願いします。振込用紙をお使いください。